



平成20年8月22日

各 位

大阪府豊中市夕日丘1丁目2番地11号

株式会社成学社

代表取締役社長 太田 明弘

(コード番号: 2179)

問い合わせ先 取締役管理部長 藤田 正人

TEL 06-6373-1529

平成20年5月期の業績見込み及び平成21年5月期の業績予想について

本資料は平成20年7月22日に公表した内容と同様のものです。

平成20年5月期(平成19年6月1日から平成20年5月31日)における当社の業績見込み及び平成21年5月期(平成20年6月1日から平成21年5月31日)における当社の業績予想は、次のとおりであります。

【連結】

(単位: 百万円、%)

項目	平成21年5月期 (予想)			平成20年5月期 (実績見込み)			平成19年5月期 (実績)	
	構成比	前年比		構成比	前年比		構成比	
売上高	5,929	100.0	110.8	5,349	100.0	111.8	4,786	100.0
営業利益	482	8.1	106.0	454	8.5	151.9	299	6.3
経常利益	472	8.0	109.2	432	8.1	149.9	288	6.0
当期純利益	275	4.6	125.9	218	4.1	152.7	143	3.0
1株当たり当期純利益	19,682円49銭			17,503円58銭			92,358円56銭	

【単体】

(単位: 百万円、%)

項目	平成21年5月期 (予想)			平成20年5月期 (実績見込み)			平成19年5月期 (実績)	
	構成比	前年比		構成比	前年比		構成比	
売上高	5,668	100.0	111.0	5,106	100.0	112.0	4,561	100.0
営業利益	459	8.1	108.5	423	8.3	151.0	280	6.2
経常利益	453	8.0	112.5	403	7.9	148.5	271	6.0
当期純利益	263	4.7	121.8	216	4.2	151.0	143	3.1
1株当たり当期純利益	18,856円12銭			17,341円24銭			92,545円78銭	
1株当たり配当金	4,500円			4,200円			3,200円	

ご注意: この文書は記者発表文であり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。
投資を行う際は、必ず当社が作成する「新株式発行並びに株式売出届出目論見書」(並びに訂正事項分)を
ご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断で行うようお願いします。

- (注) 1. 平成19年6月1日付で1株を8株に株式分割しております。
2. 平成19年5月期(実績)及び平成20年5月期(実績見込み)の1株当たり当期純利益は期中平均発行済株式数により算出しております。
3. 平成21年5月期(予想)の1株当たり当期純利益は、公募予定株式数(1,500株)を含めた期末予定発行済株式数13,996株(潜在株式は考慮しない)により算出し、オーバーアロットメントによる売出しに関連する第三者割当増資分(最大450株)は含まれておりません。

【平成20年5月期業績予想(連結)の前提条件】

(学習塾市場の全般的な見通し)

学習塾市場では、少子化が進むなか学習スタイルや進学方法が多様化し、それに応じるノウハウの蓄積、サービスの提供が必須となっております。このような状況の下、きめ細かな対応のできる個別指導形態の学習塾の成長は続いており、市場規模は9,500億円前後で推移する見通しであります。

(売上高)

平成20年5月期は、同業他社との競争の激化が予想されますが、新規教室開校や塾生募集活動の効果等により、売上高は前期比11.8%の増加を見込んでおります。

(売上総利益)

新規開校に伴い、売上原価の多くを占める人件費、支払家賃が増加する一方、効率的な運営を図ることにより売上総利益は前期比24.8%の増加を見込んでおります。

(販売費及び一般管理費)

新規開校に伴う間接部門人件費の増加により、販売費及び一般管理費は前期比13.3%の増加を見込んでおります。

(営業外損益)

投資有価証券売却益の減少により、営業外収益は前期比29.6%の減少を見込んでおります。また、市場関連費用の計上により、営業外費用は前期比48.1%の増加を見込んでおります。

【平成20年5月期業績予想(単体)の前提条件】

連結業績予想と同様であります。

【平成21年5月期業績予想(連結)の前提条件】

(学習塾市場の全般的な見通し)

少子化の影響はうけるものの、中学受験の拡大等により、市場規模は前期と同水準で推移する見込みであります。また、M&Aなどにより、業界再編がすすむ見通しであります。

ご注意： この文書は記者発表文であり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行う際は、必ず当社が作成する「新株式発行並びに株式売出届出目論見書」(並びに訂正事項分)をご覧くださいの上で、投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。

(売上高)

平成 21 年 5 月期も引続き競合の激化は予想されますが、新教室の開校等による塾生数の増加により、売上高は前期比 10.8%の増加を見込んでおります。

(売上総利益)

教室の新規開校等に伴う人件費及び支払家賃等が増加いたしますが売上の増加が寄与し、売上総利益は前期比 12.0%の増加を見込んでおります。

(販売費及び一般管理費)

間接部門の充実を図るため、販売費及び一般管理費は前期比 15.4%の増加を見込んでおります。

(営業外損益)

保険満期戻り金の収益を見込むため、営業外収益は前期比 51.4%の増加を見込んでおります。また、平成 20 年 5 月期に計上された上場関連費用の減少により、営業外費用は前期比 34.3%の減少を見込んでおります。

【平成 21 年 5 月期業績予想（単体）の前提条件】

連結業績予想と同様であります。

以上

ご注意： この文書は記者発表文であり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行う際は、必ず当社が作成する「新株式発行並びに株式売出届出目論見書」（並びに訂正事項分）をご覧ください。投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。